

市川

杉原武弘

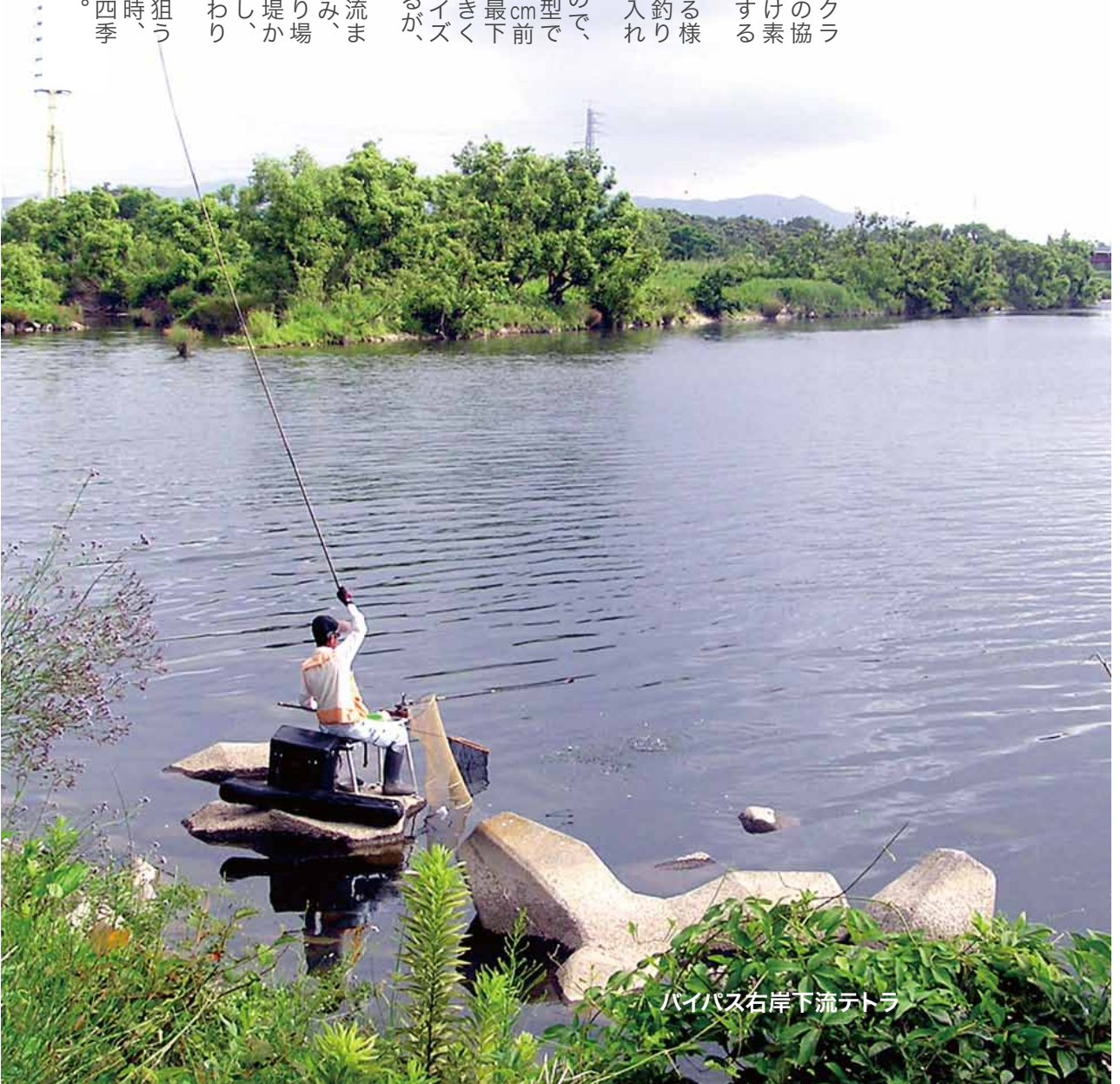
市川は2003年夏から、ヘラ研阪神クラブのメンバーが、数少ない地元釣りの協力をえて開拓が始まった。今までこれだけ素晴らしい釣り場が殆ど未開のまま存在する事が不思議である。

2006年あたりから釣り人を見かける様になり、一時ブームになったが、現在は釣りの姿は少なくなり、思ったポイントに入れないような事はない。

釣れるヘラブナは胸が張った見事なもので、無類の強力な引きは河川のヘラブナの典型である。34cm前後がアベレージサイズと37cm前後がアベレージサイズの釣り場があり、最下流の潮止め付近から上流へ行く程型が大きくなり、山陽自動車道付近の釣場が一番サイズが大きくなる。我々の最長寸は44cmであるが、地元の釣り人は48cm級も釣っている。

最下流の潮止めから、中国縦貫道の上流まで20km以上にわたって地図にない堰や淀み、ワンドが20ヶ所以上ある。それぞれが釣り場であるが、今のところ最下流の潮止め堰堤から仁豊野橋までがほぼ開拓された。しかし、台風による大水で、何度もポイントが変わり、都度調査して地図の書き直しを行った。

テトラ際の深場狙いや、長竿で遠浅を狙うポイント等、変化が多く、濁水時、増水時、厳冬期、春の乗っ込み、夏、秋と状況や四季を通じてそれぞれに魅力的な釣場である。



ハイパス右岸下流テトラ



最下流山陽電鉄下流右岸
河川敷は足場が抜群に良い



城見台ホテル裏



生野橋右岸下流



高木橋右岸上手の40cm



阿保の堰右岸

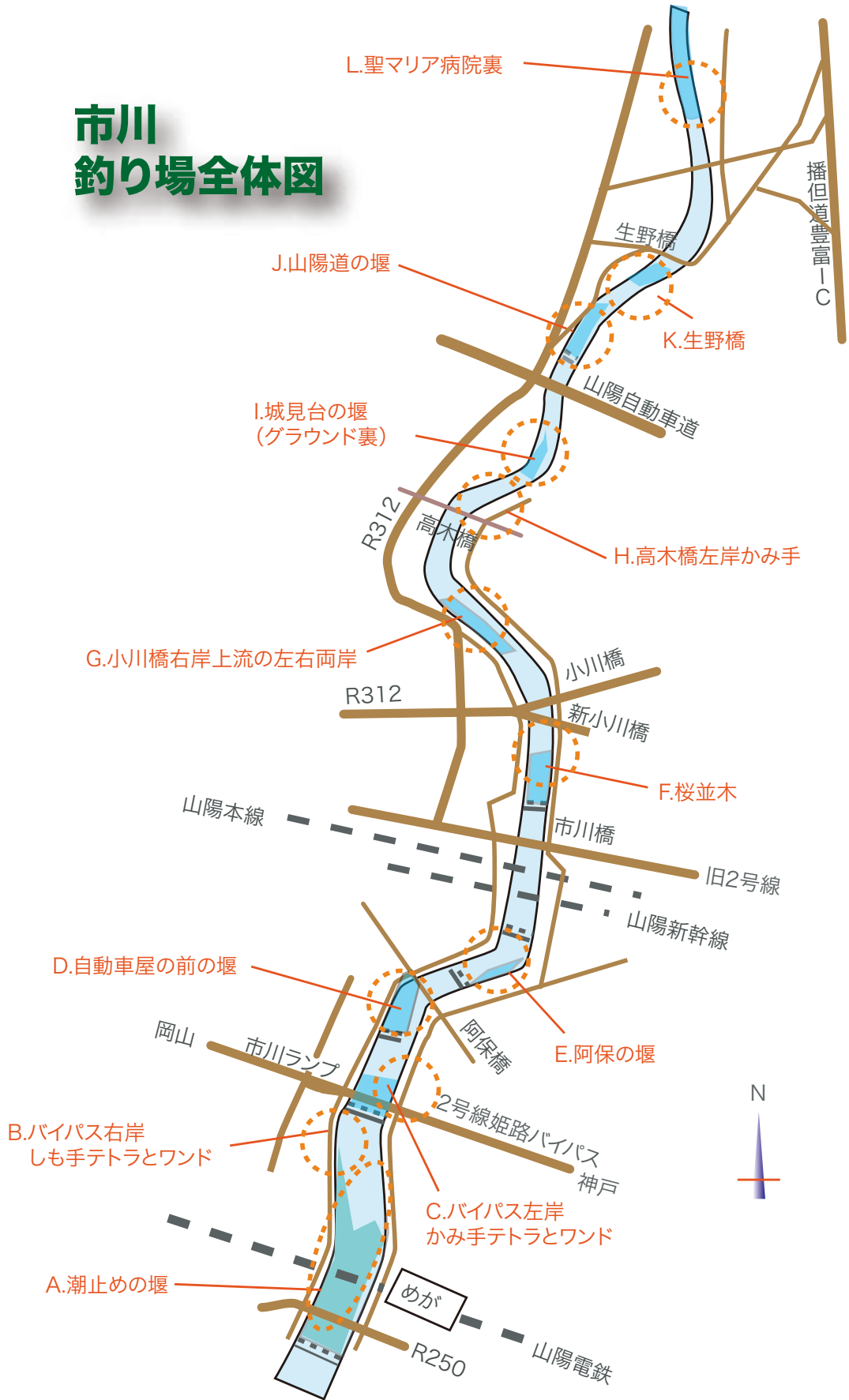
自宅(門真市)から100km圏内にあ
る市川への釣行プランは、いつも5時30
分頃の出発で近畿道から吹田に入り、山
陽自動車道の姫路東で降りる。小川橋を
渡って右折、しばらく走り左側にいつも
の「たいこ弁当」で380円の朝定食と
綺麗なデカトイレで朝の支度OK。
食後のポイント探しは、まず上流の生
野橋から下流へ、特に「澄と濁」とでは
大違いなのでモジリより水質を確かめな
がら下流へ下がって行きます。
生野橋下では、松下さんの記憶があり
ます。「コイの75cmをゲット」、グラウ
ンド前では稲森さんとの夕刻の釣果、ク
リーンセンター前の桜並木は大橋さんの
44cm、2003年に長い河川敷をラッセ
ルした阿保の堰、そして2号線バイパス
下流のワンドは小ベラながら「へら集団」
との遭遇と、各々の堰で釣り方があり一
向に飽きる事がありません。特にパイパ
ス下右手岸のワンドは、駐車場が少なく
て困りますが、3月中旬から魚の出入り
が多く、大小とり混ぜてよく釣れます。
最初の印象は「さすがに川のヘラブナ
は元氣いっぱい若い若者が多く、よく引く
のでとても面白い!」でした。
姫路市には世界遺産、姫路城を訪れる
人が多いのに市川にへら釣りに訪れる人
は少ないようで、あまり釣りに見かけ
ないが、嫁も10回以上釣行していますが、
ポーズ無しです。

釣行記録



柴田 忠幸

市川 釣り場全体図



上流部ポイント図

市川の釣り場で一番型が良い。中でも城見台下の堰は36cm~38cmがアベレージで48cmの実績もあり、40cm級の確率も高い。

J.山陽道の堰

ホテル街の裏。
40cm級の実績あり。

右岸
ミオ筋を流しながらの釣り。ホテル街の道路（堰道）に数台駐車スペースあり。

左岸
堰前のワンドも実績がある。流れは少ない。

少年野球場

水管橋

G)小川橋右岸上流のテトラと左岸。

36cm~41cm級が釣れる。コンクリート護岸で足場良。駐車スペースが殆どないので注意。

右岸はテトラ先端を狙って24尺の長尺かテトラの下流を15~21尺。水深は2.5m~1.5m。

右岸は上流側で立ち込んで18~21尺で水深1.7m前後。

F)桜並木

35cm前後。が主体で44cmの実績もある。かみ手側が深くしも手は極端に浅くなる。魚影は濃く、モジリが多い。

左岸は立ち込んで18尺~21尺の長竿。
右岸は15尺~18尺で。両岸共流れあり。特に右岸はよく流れる。

I.城見台下の堰。

右岸の少年野球場グラウンドの裏

市川で一番型が良い。48cmの実績があり、40cm上は4割。36cm~38cmが平均。本流の遠浅とワンドを雨後の増水時に狙う。盛夏にワンドの浅場にヘラブナが大量に入る事があり、大釣りがある。さらに下流の水管橋下は藪漕ぎが必要で、最近入らないが、浅場ながら実績がある。左岸は山で入れない。

K.グラウンド前。

35cm級が中心で42cmまで実績がある。

右岸
グラウンド前は浅く1m前後で濁りのある時の狙い場。流れ込みのかみ手は1.5m前後あり、12尺~15尺で実績がある。増水時にも短竿でヘチを狙い、流れが避けらる。

L.聖マリア病院裏。

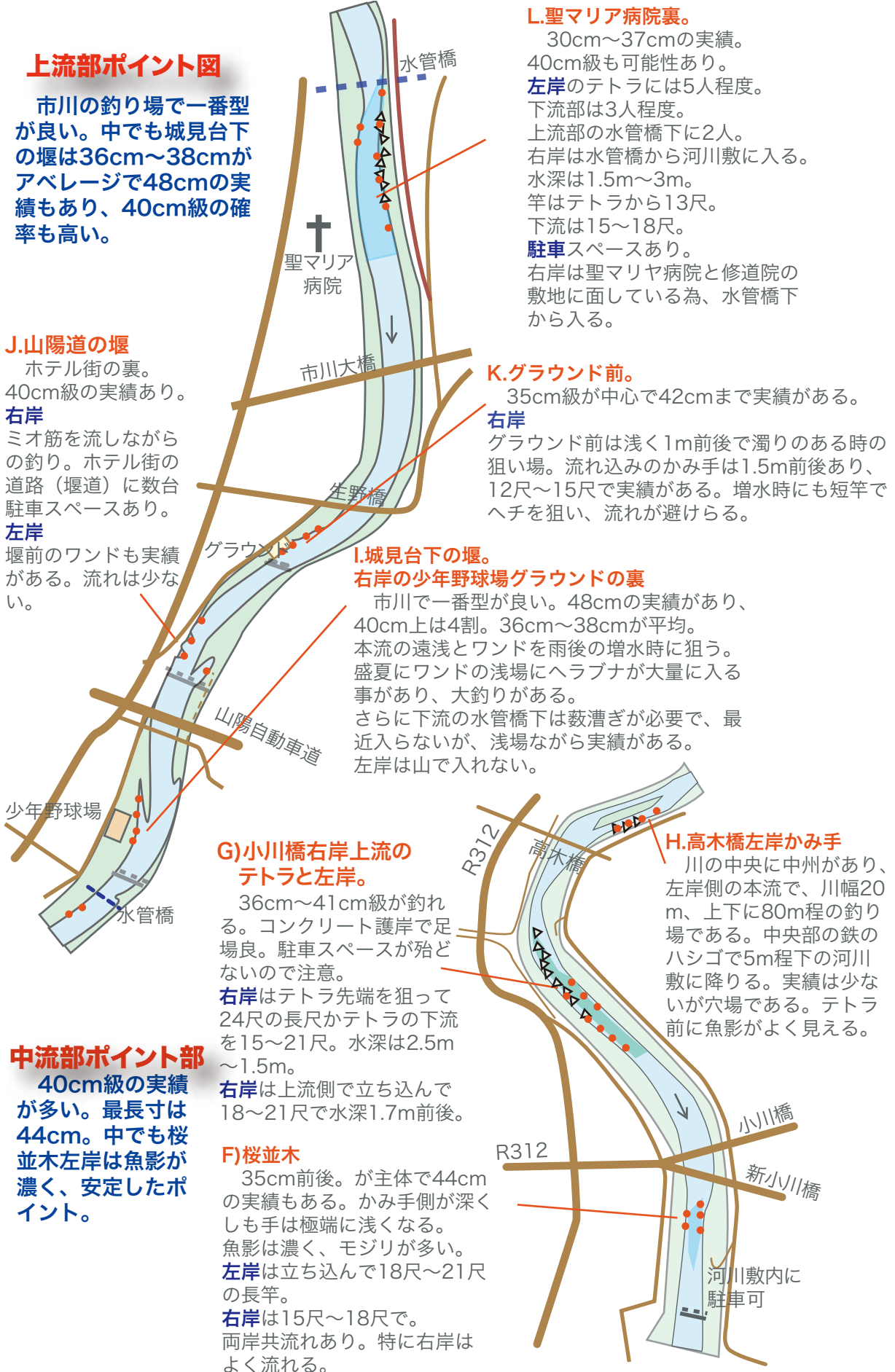
30cm~37cmの実績。
40cm級も可能性あり。
左岸のテトラには5人程度。
下流部は3人程度。
上流部の水管橋下に2人。
右岸は水管橋から河川敷に入る。
水深は1.5m~3m。
竿はテトラから13尺。
下流は15~18尺。
駐車スペースあり。
右岸は聖マリア病院と修道院の敷地に面している為、水管橋下から入る。

H.高木橋左岸かみ手

川の中央に中州があり、左岸側の本流で、川幅20m、上下に80m程の釣り場である。中央部の鉄のハシゴで5m程下の河川敷に降りる。実績は少ないが穴場である。テトラ前に魚影がよく見える。

中流部ポイント部

40cm級の実績が多い。最長寸は44cm。中でも桜並木左岸は魚影が濃く、安定したポイント。



中流桜並木左岸



下流右岸自動車屋



下流部の釣り場

いずれも魚影は濃い。30cm～33cmが主体で型が小さかったが、最近では40cm級も釣れるようになった。最下流は足場がよく、比較的安定している。

D)自動車屋の前の堰

33～37cm級。15尺～21尺で水深は1.5m～3m。コンクリート護岸の河川敷で足場良。駐車は自動車屋にお願いするとOKです。必ず許可を得て下さい。3台。

B)右岸テトラと左岸

アベレージ35cmで40cm級も。36cm前後の数釣りの実績がある。
右岸
テトラからは短竿で水深は3m～1.8m。かみ手の小ワンドは乗っ込み場。
左岸
15尺～18尺。
水深1.2m～1.8m。

E)阿保の堰

テトラで掛かり場は少ない。33～37cm級魚影は濃い。

C)ワンド内とテトラ周辺。

35～41cm。
13尺～18尺で水深は1.5m前後。魚影は濃い。

A.)潮止めの堰

33～37cm級河川敷の足場最良。駐車スペースは右岸最下流部に3台程停められるが他には殆どない。
右岸左岸共に河川敷が広く、足場も最高で、水深は1.2m～3m。モジリは少ないが30cm～38cmの実績がある。水管橋から潮止めまで約1km。

